

令和3年3月高浜市議会定例会会議録（第4号）

日 時 令和3年3月9日午前10時

場 所 高浜市議場

議事日程

- 日程第1 議案第12号 令和2年度高浜市一般会計補正予算（第14回）
議案第13号 令和2年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4回）
議案第14号 令和2年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第2回）
議案第15号 令和2年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第2回）
議案第16号 令和2年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第4回）
議案第17号 令和2年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）
議案第18号 令和2年度高浜市水道事業会計補正予算（第3回）
議案第19号 令和2年度高浜市下水道事業会計補正予算（第2回）
- 日程第2 議案第2号 高浜市公平委員会の委員のサービスの宣誓に関する条例及び高浜市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について
議案第3号 高浜市国民健康保険条例の一部改正について
議案第4号 高浜市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部改正について
議案第5号 高浜市自治基本条例の一部改正について
議案第6号 高浜市特別職の職員で常勤のものの給料の月額の特例に関する条例の一部改正について
議案第7号 定住自立圏の形成に関する協定の締結について
議案第8号 高浜市介護保険・介護予防の総合的な実施及び推進に関する条例の一部改正について
議案第9号 高浜市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について
議案第10号 高浜市地域交流施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について
議案第11号 事業契約の変更について
- 日程第3 議案第20号 令和3年度高浜市一般会計予算
- 日程第4 議案第21号 令和3年度高浜市国民健康保険事業特別会計予算
議案第22号 令和3年度高浜市土地取得費特別会計予算
議案第23号 令和3年度高浜市公共駐車場事業特別会計予算
議案第24号 令和3年度高浜市介護保険特別会計予算

議案第25号 令和3年度高浜市後期高齢者医療特別会計予算

日程第5 議案第26号 令和3年度高浜市水道事業会計予算

議案第27号 令和3年度高浜市下水道事業会計予算

日程第6 予算特別委員会の設置

本日の会議に付した案件

議事日程のとおり

出席議員

1番	荒川 義孝	2番	神谷 直子
3番	杉浦 康憲	4番	神谷 利盛
5番	岡田 公作	6番	柴田 耕一
7番	長谷川 広昌	8番	黒川 美克
9番	柳沢 英希	10番	杉浦 辰夫
11番	北川 広人	12番	鈴木 勝彦
13番	今原 ゆかり	14番	小嶋 克文
15番	内藤 とし子	16番	倉田 利奈

欠席議員

なし

説明のため出席した者

市 長	吉岡 初浩
副 市 長	神谷 坂敏
教 育 長	都築 公人
企 画 部 長	深谷 直弘
総合政策グループリーダー	榑原 雅彦
秘書人事グループリーダー	杉浦 崇臣
ICT推進グループリーダー	山下 浩二
総 務 部 長	内田 徹
行政グループリーダー	板倉 宏幸
行政グループ主幹	久世 直子
財務グループリーダー	竹内 正夫
財務グループ主幹	清水 健
市 民 部 長	磯村 和志
市民窓口グループリーダー	中川 幸紀

経済環境グループリーダー	田 中 秀 彦
経済環境グループ主幹	東 條 光 穂
税務グループリーダー	亀 井 勝 彦
税務グループ主幹	都 筑 達 明
福祉部長	加 藤 一 志
地域福祉グループリーダー	加 藤 直
介護障がいグループリーダー	野 口 恒 夫
福祉まるごと相談グループリーダー	野 口 真 樹
健康推進グループリーダー	内 藤 克 己
こども未来部長	木 村 忠 好
こども育成グループリーダー	磯 村 順 司
文化スポーツグループリーダー	鈴 木 明 美
都市政策部長	杉 浦 義 人
土木グループリーダー	杉 浦 睦 彦
都市計画グループリーダー	島 口 靖
防災防犯グループリーダー	神 谷 義 直
上下水道グループリーダー	清 水 洋 己
上下水道グループ主幹	石 川 良 彦
会計管理者	三 井 まゆみ
学校経営グループリーダー	岡 島 正 明
学校経営グループ主幹	鈴 木 剛
監査委員事務局長	山 本 時 雄

職務のため出席した議会事務局職員

議会事務局長	大 岡 英 城
副 主 幹	神 谷 直 子
主 査	杉 浦 幸 宏

議事の経過

○議長（杉浦辰夫） 皆さん、おはようございます。

本日も円滑なる議事の進行に御協力のほど、お願い申し上げます。

午前10時00分開議

○議長（杉浦辰夫） ただいまの出席議員は全員であります。よって、これより会議を開きます。

お諮りいたします。

本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定して御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、本日の議事日程は、お手元に配付してあります日程表のとおり決定いたしました。

これより本日の日程に入ります。

なお、審議の途中において、執行部のグループリーダー等が席を移動することがありますので、あらかじめ御了承願います。

○議長（杉浦辰夫） 日程第1 議案第12号から議案第19号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節をお示しいただくようお願いいたします。

9番、柳沢英希議員。

○9番（柳沢英希） すみません。おはようございます。

自分のほうからは、議案第12号（第14回）一般会計補正予算について、ちょっとお伺いをさせていただきたいと思います。

予算書見ていきますと、総務費、民生費、教育費の各項目において消耗品や備品購入費の増額が計上されておりますけれども、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した新型コロナウイルス感染症対策のものを購入すると伺っておりますけれども、具体的にどういったものを購入しようとしてみえるのか、教えていただけたらと思います。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 新型コロナウイルス感染対応の地方創生臨時交付金の取りまとめをしております総合政策グループのほうで、こちらは回答させていただきます。

コロナ感染症の拡大防止のための物品の購入費用としまして、小・中学校を初めとした公共施設用に自動手指消毒噴射器を計99台、オゾン発生器を計41台分、また小・中学校や市庁舎、いきいき広場、図書館、美術館に設置するための検温システムを計17台の費用を計上してございます。

加えて、2款1項18目の防災活動事業費では、避難所でのコロナ感染対策用としてアルミベッド及びワンタッチパーティションをそれぞれ350個計上し、また長期停電の中でのコロナ感染対策に配慮した避難所関係を整えるためや、人工呼吸器、電気式痰吸引器等の必要な方のために機器を使用するための発電機を各避難所2台ずつの計34台分の費用を計上してございます。

○議長（杉浦辰夫） 9番、柳沢英希議員。

○9番（柳沢英希） ありがとうございます。

どういったものを計上しているのかというのが、整備していこうと考えているのかよく分かりました。

あと、なぜこの3月補正というタイミングで計上されているのかということと、今回の予算計上するに当たって、どのような市民からの声を踏まえて、どういった考えを持って様々な物品の購入費用の計上しているのかという部分を教えていただけたらと。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 初めに、なぜこの3月補正の、そんなタイミングの予算計上なのかという点でございますが、年度末が近づき、これまでの交付金活用事業の費用の決算見込みが確定してきたことに併せ、地方創生臨時交付金の第3次の交付限度額が2月9日に示されました。国から交付される地方創生臨時交付金を最大限に活用し、今年度及び来年度の感染症拡大防止に備えていくために、この3月補正というタイミングで予算計上をさせていただきました。

2点目の交付金の使途でございますが、今後、ワクチンの接種により安心して過ごせるような社会状況が期待される一方で、少なくとも一定の期間は、現在のような感染対策がまだまだ必要であるということから、市民の皆さんが安心して施設等を利用でき、地域活動等の再開も見据え、感染拡大防止対策を実施していく必要があると判断して、必要物品等の購入のための予算計上をさせていただきました。

○議長（杉浦辰夫） 9番、柳沢英希議員。

○9番（柳沢英希） ありがとうございます。

今変異型というのもし出てきたりもしていますので、いろんな視点から予想される部分、非常に困難な部分もあるのかもしれないですけども、しっかりと市民の声を聴いていただいて、あとは、市内の企業等も現状を把握していただいて、戦略的に交付金の活用をお願いしていただきたいなというふうに思っております。

そしてまた、先ほどの答弁の中で、地方創生臨時交付金の第3次交付限度額が来年度に実施する事業費に充当が可能というお話がありましたけれども、どのぐらいの金額が令和3年度の事業に充当が可能なのかなという部分と、その活用というのは、どういうふうに検討をされているのか、教えていただけたらと思います。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 令和3年度に実施する事業費に充当可能な地方創生臨時交付金の額、第3次交付限度額の大半が令和3年度に実施する事業に充てられるということになっておりますが、金額としましては1億1,308万4,000円が国から示されている金額となります。その活用は、現在、各部局において検討をいただいておりますという状況になっております。

引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の対策に取り組みながら、地域経済の活性化を初め、生活弱者等へ支援、医療、介護等への従事者への支援など、いろんな様々な視点から活用してい

けたらと考えておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） それでは、議案第13号について、お伺いをしたいと思います。

補正予算書124ページ、125ページでございますけれども、令和2年度の第4回国民健康保険特別会計補正予算の5款1項基金積立金について、お伺いをしたいと思います。

基金が積み立てられているわけですが、現在の国保会計の運営状況と課題について市はどのように捉えているのか、お聞かせをいただきたいと思っております。

○議長（杉浦辰夫） 市民部長。

○市民部長（磯村和志） 国民健康保険事業は、平成30年度の制度改正により、市町村との適切な役割分担の下、県が国保財政における運営の主体となりました。県に納付金を納めることで、市町村の医療給付に必要な財源が交付される仕組みが構築されたことに加えまして、県に財政安定基金を置き、市町村の収納不足に備える措置も講じられたことから、本市のように小規模な保険者にとって安定的な財政運営が可能となりました。

この制度改正に伴いまして、本市では平成30年度に算定方式を変更した上で、前年度と同水準の負担額となるような税率改正を行い、その後は安定した運営を行っており、今年度も基金を積み立てることができました。

しかし、国の激変緩和措置が令和5年度をもって終了することに伴い、令和6年度以降は県への納付金が大幅に増加すると考えられます。加えて、新型コロナウイルス感染症はいまだ収束のめどが立っておらず、今後複数年にわたって影響を及ぼすことは必至であり、先行きは一層不透明になってまいりました。

以上のような不安要素があるものの、現下の厳しい経済状況を勘案し、私どもといたしましては、基金の活用を含めて税率の見直しを今後検討してまいりたいと考えております。

○議長（杉浦辰夫） 11番、北川広人議員。

○11番（北川広人） ありがとうございます。

コロナ禍で収入が減少する被保険者の増加とか景気の後退、そういったものも心配されるわけですが、賦課総額の減少が見込まれてはいるといえども、今答弁にあったように、令和5年度をもって国の激変緩和措置が終了するということを考えると、今後のことが非常に心配であるということは思いますが、しかしながら、一度令和3年度に運営協議会等の今後の御意見も伺って、資金運営や税率改正、こういったものを視野に入れて、やはりしっかりと議論をさせていただいて、そして一定の方向性を出すべきではないかなということをおもいますので、そのところはよくお願いをしておきたいと思っておりますし、県のほうが、結局、会計を握っているという言い方が正しいかは分かりませんが、基金に積んでるって、基金召し上げみたいな、というよう

なことが起こるんじゃないかということを僕前から心配しているんです。そんなことはないんですよね、いかがでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 市民部長。

○市民部長（磯村和志） 私どもが積み立てております基金が県のほうに召し上げられるといいますか、没収されるというようなことはございません。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。ほかに、いいですか。

4番、神谷利盛議員。

○4番（神谷利盛） じゃ、ちょっと質問させていただきます。

○議長（杉浦辰夫） マイク、すみません。

○4番（神谷利盛） 失礼。議案第15号の公共駐車場事業特別会計補正予算について、お伺いします。

補正予算書及び説明書の149ページになりますけれども、ここで経営戦略策定業務委託料が249万7,000円減額となっております。

当初予算だと九百数十万円だったというように記憶してはいますが、経営戦略という大変重い戦略を作成する費用であるのに、3割近く減額されていますけれども、その減額できた要因というのはいかがなんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 経営戦略策定業務委託料の減の理由ということでございまして、大きく分けると2点ございます。

1点目は、発注に当たりまして、委託の内容を精査したというのが1点でございます。もう1点は、入札による執行残ということでございます。

以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

4番、神谷利盛議員。

○4番（神谷利盛） それに関連してなんですけれども、その経営戦略というものは公表されるんでしょうか、それとも公表されないんでしょうか。我々に公表されるものなんんでしょうか、それともされないんでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 経営戦略につきましては、議会のほうにもきちんと公表するというのが1つございますので、今、公表に向けて、まだ完成していませんけれども、完成した後はきちんと公表していきたいというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

○議長（杉浦辰夫） 4番、神谷利盛議員。

○4番（神谷利盛） 分かりました。

最後に、いつごろになるかだけ教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 3月末を予定しております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

7番、長谷川広昌議員。

○7番（長谷川広昌） 1点確認なんですけれども、議案第12号 高浜市一般会計補正予算（第14回）の64ページ、基金繰入金で公共施設等整備基金繰入金710万円繰り戻しているんですけれども、この繰り戻した事業を教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 基金を充当している事業はたくさんございますが、主なものといたしましては、吉浜小学校の大規模改造事業の実施設等の業務委託料や高浜中学校のプール改修工事の設計業務委託料、これらの契約金額等が確定したということで繰入金を減額いたしております。以上です。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

7番、長谷川広昌議員。

○7番（長谷川広昌） ありがとうございます。

予算書のほうは私のほうでも確認をしたんですけれども、その他のところに出ていなかったの、ちょっと確認できなかったんですけれども、公共施設等整備基金はその他の財源じゃなくて、一般財源のほうで繰り戻しているということによろしかったんですか。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 今議員おっしゃるとおりでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 先ほど出ました13号国保の関係ですが、125ページ、基金のところのすぐ上です。

国保のヘルスアップ事業というのがありますが、この委託料は減額になってはいますが、このあたりの内容を教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 答弁を求めます。

市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 125ページのデータヘルス計画中間評価支援業務委託料の38万5,000円の減額につきまして、御説明させていただきます。

まず、データヘルス計画中間評価支援業務委託の入札執行残として38万5,000円を減額させていただくものなんです、こちらのデータヘルス計画は、平成30年度から6年間の計画で、今年

度3年が経過する今年度中に中間評価を実施するものとなります。特定健康診査の電子データを活用し、被保険者の健康状況や医療費の現状把握・分析することで、来年度以降の保険事業をより効果的に展開するために見直しを行ったものとなっております。

特定健診受診勧奨業務委託料につきましては、こちらは例年7月から9月までに特定健診については実施しておりましたが、年度当初に業者選定を行い、健診実施期間中に受診勧奨を行う予定で計画をしておりました。

しかしながら、政府の新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、4月17日付で厚生労働省からも、少なくとも緊急事態宣言の期間中は控えるようにという通知があったものから、使用しなかったということによって委託料のほうを減額させていただいております。

○議長（杉浦辰夫） 15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） そうすると、特定健診の業務の結果、結果というか、それを見てデータヘルスの計画がまたできていくということかと思うんですが、今年やれなかったということは、この6年間というのが1年延びるのか、それとも5年で済ませるのか、そのあたりはどのようになっていますでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 今年度につきましては、先ほど申し上げましたとおり、コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、受診勧奨業務委託の実施を見送ることといたしました。平成30年度から実施計画が策定されておりまして、それまでのデータを活用して、高浜市での被保険者の健康上昇や医療費の状況把握・分析していくことで今後につなげてまいります。

期間につきましては、延長するわけではございません

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） それでは、すみません。さっきに戻りまして12号ですが、ページ58ページというか、59ページ。歳入のところで個人市民税と法人市民税があるんですが、個人市民税の普通徴収が2,000万円減額で、特別徴収は1億1,000万円載っているんですが、これはどういうふうに捉えたらいいのか。また、この法人税についても教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） まず1点目の個人市民税につきましては、納付方法が2種類ございます。議員おっしゃられるように、御自身で納めていただく普通徴収と給与所得者で給与から天引きする特別徴収の方法の2種類がございます。

高浜市におきましては、平成31年度から近隣市町村と協力いたしまして、特別徴収の推進を実施してまいりました。その結果、特別徴収の割合が増えていることが1点。

もう1点につきましては、給与所得者の所得が予算編成時より増えたこと、あと、納税義務者

の数につきましても、約700名程度当初予算時よりは増加した結果、12月末の収入状況で再度決算見込みを算出しまして、現計予算に比べてこのような増額補正となったものでございます。

2点目の法人市民税につきましても、当初予算で編成したときにつきましては、ちょうど年末で、2019年10月頃に編成したんですが、その頃といいますのが、米中の貿易摩擦等で輸出する事業が大幅に悪い状況が一旦ありました。その結果、当初予算において編成した数値と比べて、環境が改善した結果、おおむね、市内の主要産業である鉄工業ですね。自動車関連産業のところにおいて見込んでおった数字より税収が増えたことで、最終的に12月末で決算見込みをやったことによりまして、当初予算において3,000万円の増額が見込めるということで、財政厳しい折ですので、今回3月補正において計上させていただいております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では、順番にお聞きいたします。

まず、議案第12号の一般会計の補正予算、予算書59ページ、13款1項2目のいきいき広場使用料なんですけれども、こちら、マシンスタジオにおけるコロナウイルス感染症の影響で減額になったという御説明があったかと思うんですけれども、具体的に、多分閉めていた期間かなと思うんですけれども、例年だったらこれぐらいだったものが、今回具体的にどのように減ったのかというところを教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 地域福祉グループ。

○地域福祉G（加藤 直） この使用料につきましては、まず、マシンスタジオにつきましては、当初865万4,000円を予定しておりました。今回の補正では394万1,000円で、約471万2,000円ほど減額させていただいたものになります。

それからもう1つ、貸館のほうになりますが、当初予算のほうでは38万円ほど予定しておりましたが、29万4,000円でマイナス8万6,000円の減額となっております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 次ページの14款1項1目の障害者医療費負担金と障害児入所給付費等負担金、こちら自立支援障がい者等の増ということで御説明いただいているんですけれども、具体的にどのくらいの方が増えて、どのように増になったのか、御説明お願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 障害者医療費負担金2分の1の増額の要因でございますが、前年度と比較しまして、新たに生活保護者3名が自立支援医療を利用したことによる増でございます。

続きまして、その下の障害児入所給付費等負担金2分の1でございます。こちらの主な増加要因といたしましては、放課後等デイサービスの利用者が増加しておりまして、12月補正時と比較

して4名増、あと児童発達支援サービスも12月補正時と比べて10名増したことによる増額でございます。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では、次ページめくっていただいて63ページ、15款2項6目商工費県補助金なんですけれども、げんき商店街推進事業費補助金、これ、プレミアム商品券の補助金ということでお聞きしております。

これ、以前、私の調べですと、たしかコロナウイルス感染症の地方創生臨時交付金のほうで補助金のほうをもらって、事業を行うという御説明だったんですけれども、このあたりがちょっと今回は変わったという理解でよろしいのでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 経済環境グループ。

○経済環境G（田中秀彦） げんき商店街推進事業補助金でございます。1,373万5,000円、これは、実は2つございまして、プレミアム商品券分が1,400万円、クイズラリーとして商店街による事業を商工会がやった部分の補助が73万5,000円でございます。当初100万円の枠取りをしてありましたので1,373万5,000円という形でなっております。

プレミアム商品券につきましては、県のげんき商店街推進事業の上限1,400万円というところがございましたので、1,400万円から100万円引きまして1,300万円の充当と、で、県費がもらえるということで県費のほうを充てさせていただいて、他の部分をほかの事業に回すということになったと聞いております。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田議員に確認させていただきます。何問かありますか、まとめて……。

○16番（倉田利奈） はい、何問かあります。

○議長（杉浦辰夫） 何問かあれば、まとめていただければ。お願いします。

○16番（倉田利奈） じゃ、そのプレミアム商品券が県費のほうで補助金がもらえたということは、結局、じゃ、先ほどのコロナウイルスの地方創生臨時交付金の枠が空いたと思うんですけれども、それはどのように今回使用されたのかなというところをお聞きしたいというところと、次のページめくっていただいて、17款1項1目のふるさと応援寄附金ですね。こちらの額の減の理由を具体的に教えていただきたいと、同ページの20款4項4目の資源ごみ回収収益金、こちらの減の理由も教えてください。

とりあえずそこまでいいですか、一旦。

まだたくさんありますけれども、とりあえずいいですか。

○議長（杉浦辰夫） あと2つぐらい。

○16番（倉田利奈） もう2つぐらいですか。はい、分かりました。

では、ページをめくっていただきまして、すみません。73ページの2款3項1目戸籍住民基本

台帳費、こちらマイナンバーカード等のことということで、コンビニ交付やシステム改修ということで、戸籍住民基本台帳事務事業ということで減額とかあるんですけども、その中で、地方公共団体情報システム機構負担金、これは先日の一般質問の関係の内容かなと思うんですけども、ここの部分の御説明をお願いいたします。

それから、ページをめくっていただきまして、75ページの3款1項3目の障害者自立給付事業、こちらもちっと内容について詳しくお伝えください。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 私のほうからは、先ほどのげんき商店街推進事業補助金の分が入ったことによって、コロナの対応の臨時交付金がほかのところに充てられているのではないかというようなところですが、今、議員おっしゃるとおりで、コロナの感染症対応を地方創生臨時交付金については、国に実施計画書を出しているんですけども、その中で全17事業ほど掲載しております。その中には、今回の3月補正で計上させていただいた消耗品や備品等々の費用もございます。それより前にはGIGAスクールのタブレット端末の部分、これ、市単でやった部分になります。その部分にも充当しております。当初全ての額を充当できているわけではありませんでしたので、トータルの事業費の中でうまく相殺できるような形で、ほかのところに充当し直したというような形で全部、全額いただいた額は使えるような形で、中でちょっと動かしておりますのでよろしくをお願いします。

続きまして、ふるさと応援寄附金がちょっと減額になってしまっているというところで、その理由というところですが、こちらについては2点ほど理由がございます。

こちら、今年度はシティプロモーション等を積極的にやって増を見込んでおったんですが、その結果、返礼品のラインナップについては、約60品ぐらいラインナップは増えました。寄附金の件数自体も、12月末時点では300件ほど前年度より伸びているんですが、1件当たりの寄附単価というものが前年度は2万7,000円ぐらいだったのが、今年度は2万3,000円ぐらいということで、1件当たりの寄附単価が約4,000円ぐらい下がってしまったということで、件数は増えたんですが、寄附の金額の増にはつながらなかった。

もう1点、こちらの理由が大きいんですが、今年度は農林水産省がニコニコエールという補助金制度を実施しておりまして、これは農作物返礼品、これ、コロナの影響を受けているそういった農産品の支援ということで事業者への補填、半額補助というものが実施をされておまして、この制度の理由により、通常時よりも寄附者にとってお得感のある返礼品がそういった農産品を出している自治体についてはつくられました。いつもは1万円の寄附で3,000円分相当のものがもらえていたのが、そのうち半額が補助されるので、いつもの倍の分のものを農産品の人たちは出せるようになって、それを見た市民の人たちがお得感というところで、そういったものを選ぶというような形になっております。なので、その補助制度の対象となった返礼品をラインナップ

した自治体については、軒並み寄附金額が大きく増えているというような本年度は流れがありません。その反動で、高浜市はそういった農産品のラインナップがないので、そういった補助対象とならなかった自治体は、軒並み寄附金が大幅減というのが全国的な動きになっております。

なので、高浜市もそういった肉だとか魚介類、花、お茶、そば、果物とか、そういったようなものがなかったため、このニコニコエールという制度を利用できなかったのも、当初見込んでおいたよりは大幅に減の自治体のほうに入ってしまったということになります。

○議長（杉浦辰夫） 経済環境グループ。

○経済環境G主幹（東條光穂） 65ページの資源ごみ回収収益金の200万円の減額についてお答えいたします。

こちらですが、分別収集拠点での回収分になります。本年度回収量そのものは減っていないんですけども、買取り単価のほうが大幅に下がったため、金額の変更になっております。

主なものでいきますと、例えばスチール缶ですと、昨年度まで1キロ当たり19.8円で買い取りいただいていたものが、本年度3.3円と16.5円減額となっております。そのほかガラスでも白色のガラスが2円から0.5円と75%の減額になっておりますので、200万円の減ということになりました。よろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 続けて答弁をお願いします。

市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 73ページの戸籍システム修正業務委託料の84万8,000円の減額につきまして、内容を含めて御説明をさせていただきます。

戸籍事務のマイナンバー制度の導入に関しまして、全国の自治体における住民住基戸籍業務のシステムの修正業務委託料で全国の市町村間で電子化が開始され、マイナンバー制度のために整備された情報提供ネットワークを通じて戸籍関係書類が確認できるようになるもので、予算に対する請負残として84万8,000円を減額させていただきます。

続いて、2款3項1目地方公共団体情報システム機構負担金1,840万8,000円の増額補正になります。

こちらにつきましては、60ページの今回の歳入補正予算14款2項1目で、10分の10の国庫補助金として計上させていただいております個人番号カード交付事業費補助金、同額をマイナンバーカード関連事務の委任に係る交付金見込額通知に基づき、地方公共団体情報システム機構へ負担金としてお支払いさせていただく金額となります。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 75ページ、3款1項3目障害者自立支援給付事業の自立支援医療費と障害児給付費の増額理由でございますが、先ほど61ページの歳入でお答えさせていただいた

理由と同じですので、よろしく申し上げます。

○議長（杉浦辰夫） 答弁漏れはありませんか。

それでは、16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では、同ページの3款1項5目老人保健の設置事業で減になっている理由は、措置者の減ということで先日御説明があったと思うんですけども、このあたりの詳しい御説明と、あと、次ページの77ページの3款1項15目から17目ですね。こちらの15目、16目、17目につきましては、減となっているんですけども、このあたり、やはりちょっとコロナによる受診控えなのかなと、私の勝手な想像なんですけれども、そのあたりの御説明もお願いいたします。

それから、ページが飛びまして、81ページ、4款1項1目、新型コロナウイルス感染症対策事業で事業補助金のほうが100万円、対象医療機関が増ということなんですけれども、これ、どれくらい医療機関が増えたのかということと、内容と、あと、以前PCR検査、PCR抗体検査ですね、抗体検査をやったところに対して、そのキットの補助金を市のほうが負担するというところで御説明があったかと思うんですけども、そのあたりを含まれているのか含まれていないのか。もし抗体検査をやる医療機関が増えているようでしたら、また教えていただきたいなと思います。

それから、その下の4款1項3目の地域医療振興事業ということで固定資産、高浜豊田病院の固定資産税が減額となっておりますけれども、このあたりの御説明をお願いいたします。

それから、同ページの6款1項5目の排水路樋門維持管理事業、こちら服部新田排水機場ポンプ、こちらのほうが減額となっておりますが、この理由も教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 福祉まるごと相談グループ。

○福祉まるごと相談G（野口真樹） 老人保護措置費706万6,000円の減額の理由でございますが、令和2年4月1日の措置者は22名でございますが、当初予算では24名を計上しておりました。4月以降は新規入所者2名と退所者が6名ございまして、1月末現在で18名となっております。その関係から減額をさせていただいております。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 77ページの国民健康保険、そしてその下の後期高齢者医療、それぞれの特別会計繰出金が減額されているという内容につきまして、こちらにつきましては、議員おっしゃられた部分も影響しておりますが、それに加えて、軽減の世帯に属する被保険者数や軽減税額、全体の一般保険者数の減に伴いまして特別会計のほうに繰出金額が下がっております。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 77ページでございます。介護保険特別会計保険事業勘定繰出金の減でございます。

こちら介護保険特別会計のほうに一般会計から繰り出しをさせていただくんですけども、今

回、コロナの関係で介護相談員の活動の回数が減になったことによりまして、繰り出しが減になっているという理由でございます。

○議長（杉浦辰夫） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 81ページの新型コロナウイルス感染拡大防止等支援補助金についてですが、こちらにつきましては、昨年10月の臨時議会で新型コロナウイルスの検査を担っていただけの医療機関、こちらが10か所ございましたが、その後2か所増えて予算で見込んでいました12か所に達しましたため、さらに1か所分を見込み、補正として計上させていただいております。

あと、抗原検査を行う医療機関が増えているのかどうかというところまでは、こちらのほうでは把握できておりません。

続きまして、地域医療振興事業の固定資産税等補助金が減額となった理由ですが、こちら高浜豊田病院、新しい病院であるため、固定資産の取得価格に一定の係数を掛けて算出しまして、令和2年度の当初予算に計上しておりました。その後、県の調査による評価額を基に固定資産税等が算出されまして、今回、減額補正をさせていただいたものでございます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 土木グループ。

○土木G（杉浦睦彦） 続きまして、服部排水機場ポンプ更新工事費の減額は、これは請負差金によるものでございます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません。ちょっと請負先による事業ということが、なぜ減になったのかということがよく分からなかったの、もう一度御説明いただけたらというところと、83ページの2款1項4目いきいき号の循環事業で、いきいき号停留場標識板製作業務委託料、こちらの減になっている理由を御説明ください。

それから、ページ飛びまして、89ページ、10款2項1目の小学校維持管理事業の空調設備保守点検業務委託料、それから1個飛びまして、小学校トイレ改修工事設計業務委託料、このあたりどこの学校なのか、教えてください。

そこから飛びまして、繰越明許費、104ページなんですけれども、こちらがほとんど繰越しがされているということなんですけれども、これの理解については、いわゆる今年度中に予定をしていない、いわゆる計画を立てていないといけないものだけでも、事業は翌年度に繰り越すという理解でいいのかというところ、そのあたりをお願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 土木グループ。

○土木G（杉浦睦彦） すみません。服部排水機場ポンプ更新工事費の減額は、入札を行った結果、予算残額が発生いたしましたので、決算見込みで減額補正をさせていただきました。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 経済環境グループ。

○経済環境G（田中秀彦） 83ページ、7款商工費のコミュニティ交通費のいきいき号循環事業、いきいき号バス停留所標識板製作業務委託の104万円の減額でございます。

当初、バスの追加・廃止ということで公共交通会議の意見を聴き、進めていくということで計画しておりましたが、コロナ禍でなかなか公共交通会議の実施ができなかったこと、めどが立たなかったこと、あと、公共交通会議において公共交通の専門家を入れて、今後いきいき号の計画実施をちょっと変えていこうという委託も来年度計上する予定でしたが、それもちょっとなくなったこと、いろいろございまして、見直しについて今回あえてやるということは先延ばしにしたということでございます。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 89ページ、空調設備保守点検業務委託料のどこの学校かということでございますが、これは吉浜小学校、高取小学校、港小学校、翼小学校の4校でございます。

小学校トイレ改修工事設計はどこの学校かということでございますが、港小学校の改修工事設計でございます。

○議長（杉浦辰夫） 答弁漏れはありませんか。

総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） すみません。105ページからの繰越明許のところですが、新型コロナウイルス感染症対策事業のところだけで例にとって申し上げますが、議員言われるように、こちら今年度中に予算を組んで、事業を契約等々まで済ませているものでないと来年度に繰越しができないというようなところがありました。本当に契約まではできるんですが、納品が間に合わないというようなところで来年度に費用を繰り越すというところになっておりますので、よろしくをお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では次に、議案第14号に移ります。

土地取得費特別会計の補正に関しまして、137ページ、1款2項1目土地不動産売払収入ですね。こちらの金額の理由を教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 答弁を求めます。

土木グループ。

○土木G（杉浦睦彦） 当初、代替予定地の売却を一応当初予算で見込んでおったんですが、またその売却収入が見込めなくなったというか、対象となる売却する土地の執行ができなかったというものでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、いいですか、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません。なぜそれができなかったのかをお答えいただきたいのと、次、議案第17号、190ページをお願いいたします。

後期高齢者医療保険料の特別徴収保険料が減になって、普通徴収保険料は増になっている。ちょっとこれ、組替えか何かかなと思うんですけども、このあたり御説明ちょっとこ詳しくお願いしたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 土木グループ。

○土木G（杉浦睦彦） 事業を進めていく中で用地を確保する土地、事業協力していただく方が代替用地を求められる場合もございます。

そういったところの中で、代替用地の取得の規模というか、そういった案件がございませんでしたので、今回収入が減とさせていただきます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 191ページの後期高齢者医療特別会計の特別徴収、普通徴収の件から御説明をさせていただきます。

後期高齢者医療保険料の決算見込額を勘案し、特別徴収から普通徴収に組み替えたことによる増額・減額という形になります。例年決算見込みを勘案しまして、3月補正で増額・減額をお願いさせていただいておりますが、今年度はそれに加えて、所得の低い方に対して令和2年度まで特例的な軽減が実施されていりましたが、世代間の公平を図る観点などから、本来の被保険者均等割額の軽減制度へ段階的に戻されていることとなっております。

保険料軽減特例の見直しによりまして、保険者均等割の負担割合が低くなったことで保険料が上がり、年金特徴が中止となったようなケースもあって、普通徴収の割合が増えたと考えております。

○議長（杉浦辰夫） いいですか、答弁。

ほかに。

〔発言する者なし〕

ほかに質疑もないようですので、これをもって議案第12号から議案第19号までの質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

昨日の締切りまでに討論の通告はありませんでした。

これより採決いたします。

議案第12号 令和2年度高浜市一般会計補正予算（第14回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第12号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第13号 令和2年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第13号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第14号 令和2年度高浜市土地取得費特別会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第14号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第15号 令和2年度高浜市公共駐車場事業特別会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第15号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第16号 令和2年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第4回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第16号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第17号 令和2年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第17号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第18号 令和2年度高浜市水道事業会計補正予算（第3回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第18号は原案のとおり可決されました。
次に、議案第19号 令和2年度高浜市下水道事業会計補正予算（第2回）について、原案を可決することに賛成の議員の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（杉浦辰夫） 起立全員であります。よって、議案第19号は原案のとおり可決されました。
暫時休憩をいたします。再開は11時5分。

午前10時53分休憩

午前11時5分再開

○議長（杉浦辰夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長（杉浦辰夫） 日程第2 議案第2号から議案第11号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかをお示しいただくようお願いします。

1番、荒川義孝議員。

○1番（荒川義孝） よろしく申し上げます。

議案第5号 高浜市自治基本条例の一部改正についてお聞きしてまいります。

今回の自治基本条例の一部改正は、市民の委員の方の御参画による検討委員会が設けられ、改正の経過等は、市の広報やホームページ等で情報発信が今されております。

今回の検証と見直しは、条例の第24条に基づきまして、平成27年度の検証後、5年目に当たる今年度を実施されました。今回の一部改正により、検証と見直しの期間について、5年を10年に改正するとされていますが、この改正に至った経緯並びに理由についてお聞きいたします。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） まず、行政内部でのこちらについては検証を行いまして、その後、自治基本条例検証委員会による検証、パブリックコメントを経て、検証委員会からの最終報告書が行政に提出をされております。行政では、最終報告書に基づき第24条については改正するものとして、今回、議案上程をさせていただいております。

なお、改正の理由は、検証委員会より、自治基本条例の条文自体はしっかりできており、頻繁な修正は発生しないと思われる。条例に沿ったまちづくりの進捗は総合計画の毎年の進捗状況とともに確認をし、条文自体の見直しの間隔は10年でよいという御意見をいただいております。それを受けて、行政としましても、総合計画の毎年の進捗管理と併せ、自治基本条例に即した動きができているかをチェックし、必要に応じて見直しができるものとして、10年を超えないごとという期間設定でも支障はないと判断しましたので、今回の改正案に至ったものでございます。

○議長（杉浦辰夫） 1番、荒川義孝議員。

○1番（荒川義孝） ありがとうございました。改正の経緯、それから理由についてはよく分かりました。

次に、今回の自治基本条例検証委員会の委員の方の中には、自治基本条例の策定に関わった委員の方はおみえになられたでしょうか。なぜこういったことをお聞きするかといいますと、自治基本条例策定当初の目的や思いをつなげていくためには、やはりそこに関わってきた方や、その思いが繋がっていくことが大切であると考えます。その点からも、検証と見直し期間を10年を超えないこととすると、この部分がつながっていかなくなってしまうのではないかと思います。

その点についてどのように考えているかお聞かせください。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 今回の検証委員会の委員の中には、策定の際にも関わっていただいた方が1名入っていただいております。これで今回の委員会では、かつて自治基本条例の出前授業というものを小学校でやっておりました。その出前授業を受けた子が18歳になり、今回の委員会の委員として、今度は検証、見直しの立場として参加をしてくれました。

また、自治基本条例に込めた思いをつなぐという点では、小学校3、4年生の社会科の副読本であります「のびゆく高浜」に自治基本条例の内容を盛り込んでいただき、授業の一環として子供たちに伝えていくことができるようになっております。

また、今回はパブリックコメント実施の際に、これは委員会から出た意見もあってなんですが、商工会を通じて会員、事業者様ですけれども、約1,000社に条例のPRを含めた今回御案内をしております。

条例はあるだけでは意味がなく、その思いが理解されて、皆さんの活動へとつながっていくことで初めて意味をなすと思っております。そうした観点から、基本条例に即した動きができていくかということは毎年チェックするとともに、自治基本条例に込められた思いをつなぐ高浜市を担っていく人材を育てていく部分については、しっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

○議長（杉浦辰夫） 1番、荒川義孝議員。

○1番（荒川義孝） ありがとうございます。

最後に、検証委員からの御意見がありましたように、条例に沿ったまちづくりの進捗は、総合計画の毎年の進捗状況とともに確認すると最初の御答弁でありましたが、この確認についてはどのように取り組んでいこうとしているのでしょうか。

また、基本条例の思いをつないでいくため、今後どのように取り組んでいくのかお聞きします。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） まず、1点目の条例に沿ったまちづくりの進捗の点検でございますが、毎年度、総合計画の進捗管理として作成をしております施策評価シートの様式を事業実施に伴い、参画・協働・情報共有といったまちづくりの三原則にどのように取り組んできたのかなどを記載できるように変更しまして、推進会議にて確認をしていただくような形で考えてございます。

次に、2点目の御質問でございますが、パブリックコメントの中でも、子供や高齢者にも分かりやすく伝えられるよう、漫画だったり、落語だったり発信の仕方を工夫してはどうかというような御意見もいただいております。そういったアイデアを参考に、今後も発信の手法や媒体、事業者に対する発信についても検討してまいりたいと思っております。よろしくお願いたします。

す。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

12番、鈴木勝彦議員。

○12番（鈴木勝彦） お願いします。

議案第7号 定住自立圏の形成に関する協定の締結についてでありますけれども、この年度末において10年間の期間が終えられるということで、その10年間の成果をまずお聞きしたいということと、今後、行われる新たな締結とどう違うのか、その2点、お伺いしたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 初めに、成果についてお答えをさせていただきます。

代表的な取組の成果を分野ごとに申し上げますと、医療健康分野におきましては、刈谷豊田総合病院と定住自立圏域内の診療所等との間をネットワークで結びまして、紹介時の診療予約や診療情報を共有化するなど、医療提供体制を整えることができたと思っております。

次に、教育文化分野では、平成30年4月に小垣江東小学校に併設する形で特別支援学校が開校をし、個々の状況に合わせた専門的な障がい児教育を実施できるようになりました。このほかにも、イベントへの相互出展や情報サイトの共同運用、コミュニティバスの刈谷市への乗り入れや美術館の企画展チケットの相互販売などを展開するなど、圏域の形成に一定の成果があったかなと考えてございます。

2点目の現協定と新しく協定し直す協定の内容の違いでございますが、1つ目は、福祉分野に係る取組として、新たに障がい者が利用する地域活動支援センターの相互利用であったり、医療的ケア児の支援体制の連携、医師会が同じである刈谷、知立、高浜で医師会と連携した医療と介護の連携、子育て支援センターの相互利用などの検討を追加するというように考えております。

2つ目は、共同調達の推進に係る取組として、新たにコスト削減や自治体業務の効率化を図るため、単独市町で購入するにはコストのかかる物品や委託業務を共同で調達することに関する調査検討を追加することとしております。

○議長（杉浦辰夫） 12番、鈴木勝彦議員。

○12番（鈴木勝彦） ありがとうございました。

協定書の案を頂いております。その中には、基本的な方針の第2条に、「相互に役割を分担して連携を図り、共同し、又は補完し合う」ということでありますけれども、非常に必要なことであって、重要なことだとありますので、理解しております。

この協定書を今年の4月1日から10年間、3月31日までということでありますけれども、各取組について進捗管理、どのようにしていくかの成果指標だとか、実施スケジュールなどは定めているのかお聞きしたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） こちらにつきましては、協定締結後、協定に定めた取組を推進していくために、具体的に実施する事業内容や成果指標、スケジュールなどを示した定住自立圏共生ビジョンのほうを本年8月をめどに策定をしまっているところになっております。よろしくお願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

4番、神谷利盛議員。

○4番（神谷利盛） それでは、議案第8号 高浜市介護保険・介護予防の総合的な実施及び推進に関する条例の一部改正についてお伺いいたします。

今回の改正では、第8期となる令和3年度から令和5年度までの介護保険料を標準月額として5,820円とするもので、第7期と比較すると120円のプラスとなっております。初めに、どのような積算で5,820円の保険料となったのか、第7期と比較して教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 保険料額につきましては、65歳以上の高齢者数や要介護認定者数の伸び、過去の給付実績などから、今後3年間の給付費、さらに0.7%の介護報酬の改定などを推計した上で算出するとともに、介護保険審議会で御議論いただきながら保険料を決定いたしました。

第7期との比較でございますが、所得段階は第7期と同様の17段階を維持するとともに、いわゆる上乗せサービスと言われる区分支給限度基準額を国が定める区分支給限度基準額に1.05を乗じて得た単位数に至るまでに引き下げています。加えて、支払準備基金の取崩し額を1億2,000万円と見込むことで、第7期の増加率4%よりも1.9%低い2.1%となる月額5,820円となりました。

○議長（杉浦辰夫） 4番、神谷利盛議員。

○4番（神谷利盛） ありがとうございます。

次に、所得段階を17段階と多段階化を維持し、低所得者対策を実施するとともに、支払準備基金の取崩しを1億2,000万円と見込んでいるということは、制度の持続可能性を見据えた計画性のある対応と評価いたします。

そこで、支払準備基金の残高はどれくらいになるのかという点と、今回見直しのあった上乗せサービスについて、どのような議論が審議会であったのかお伺いしたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 支払準備基金の残高でございますが、1億2,000万円を取り崩しますと、7期とほぼ同額の約9,000万円となります。

次に、上乗せサービスにつきましては、審議会において当初から議論がなされたところがございます。上乗せサービスを始めた当初と比べ、サービス付き高齢者住宅や有料老人ホームといっ

た居宅サービス付き住宅が増える中、上乘せサービスの本来の目的である在宅重視を再確認するとともに、保険料の負担を軽減するべきであるとの御意見をいただき、今回、上乘せサービスを見直したものでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） では、議案第5号と議案第11号についてお聞きします。

まず、議案第5号なのですが、高浜市自治基本条例の一部改正で第9条の第1項、「監視及びけん制する」というところなんですけれども、これを「監視し、抑制と均衡を図る機能」になるかと思うんですけれども、これ、抑制を図る機能は分かるんですけれども、均衡を図る機能というのは、我々議員にとってどのような具体的に行動になるのかを教えていただきたいと思います。

○議長（杉浦辰夫） 倉田議員、この第9条に関しては議会が出したものですので、質疑はやめていただきたいと思います。

○16番（倉田利奈） 議会が出したものですけれども、私は反対をしましたし……

○議長（杉浦辰夫） 討論をお願いします。

○16番（倉田利奈） 質問も、これ最終的には自治基本条例の検証委員会が決定していると思いますので、検証委員会さんの御意見をお聞きします。

○議長（杉浦辰夫） 企画部長。

○企画部長（深谷直弘） 今、お話のように、議会のほうで一度御議論をいただいてお答えを出されたというふうで、昨年10月でしたか、文書で回答をいただいております。それを検証委員会のほうに討議の中に付させていただいて、最終的に今の形に変えるという議会のお答えを、そのままの形で変えていくということでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） すみません、まだ今、質問の途中だったんですけれども、だから検証委員会さんがどうしてそれを認めたのかということをお聞きしたかったんですけれども、ちょっと今のお答えでは分かりませんでした。

では、議会運営委員会で先ほどから決まったというふうに、いろいろ外部から、今、不規則発言がありましたけれども、私は議会運営委員会で採決できませんでしたので、今ここで、ただお聞きしただけです。

では、続きまして、議案第11号の事業契約の変更につきまして、4点お聞きいたします。

まず、1点目、事業変更の建設物価調書による事業費の増についてというところですが、この部分につきましては維持管理費は含まれるのかどうかというところ、多分これ、算定表を見ると工事費だけなのかなと思うんですけれども、その部分の確認をまず1点目、お願いしたいと思います。

います。

それから、2点目なんですけれども、アスベスト処理費用の増についてということで、議案説明会の資料を頂いて説明を受けたんですけれども、これ、アスベスト処理費につきましては入札を行ったのか、行っていないのか。多分、これを見ると行わなくて、随意契約なのかなと思うんですけれども、随意契約に至った経緯及び、随意契約であれば、それに係る随意契約の理由のほうをしっかりと答えたいということと、あともう一個、金額の問題ですね。これ、例えば1階駐車場の耐震補強柱、耐震補強壁、これ409万8,600円なんですよね。大体平米5万円ぐらいするのかと思うんですけれども、以前この市役所を建て替えるときに、旧庁舎のほうでアスベストのほうの処理をされていると思いますので、そちらが平米幾らだったのかということをお答えいただきたいなということと、あと、最後、契約です。既にもう体育館取り壊されておりますが、後から事業契約の変更ということになるかと思うんですけれども、まず、こちら会計管理者の方にお聞きしたいんですけれども、この金額について支出したかどうか、またいつ支出するかについてお聞きしたいですし、この工事、仮契約とかをして工事を行ったのかどうか、そのあたりを詳しく教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 企画部長。

○企画部長（深谷直弘） 先ほど私の言い方が悪かったのか、検証委員会ではコメントとして、議会基本条例の前文にある市長と相互の抑制と均衡を図りながらと前文に出ておりますので、そこを検証委員会の委員さんたち、きちんと読まれて、そこで内容も含み検討した結果、検証委員会としては議会から出されたものを尊重するというので答えが出ております。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） まず、この契約、事業契約の変更ですね、維持管理は含まれておりません。

2つ目のアスベスト処理について入札の有無ということでございますが、入札はしておりません。高浜小学校等整備事業の事業契約の変更という形で今回お願いしているということで、随意契約にした理由というのは、やはり解体とセット、基本的にはセットだと我々は考えております。このアスベスト処理費用を入札手続きしますと、1か月、2か月、契約手続きにかかります。そのようなものは現実的ではないだろうということで、やはり事業契約の中で行っていったということでございます。

先ほど会計管理者ということでございましたが、ちょっとその状況について御説明させていただきますが、まず、この予算につきましては、令和2年の当初予算で議決をいただいております。なぜ契約の議決がこの時期になってきたのかということでございますが、アスベストの処理は処理の量が確定しないんですね。これまでも全てそうなんですけれども、予算のときにきちっと御説明申し上げて、今回でいきますと令和元年12月18日開催の全員協議会で御説明させていただき、

事業契約の変更は本定例会に上げるという、処理量が確定した段階できちとした数字を上げさせてもらって事業契約の変更をするという手続を踏んでおりますので、支出はまだしておりませんので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（杉浦辰夫） 行政グループ。

○行政G（板倉宏幸） 旧庁舎の外壁アスベスト等の除去工事について御説明させていただきます。

こちら、外壁以外の他の処理もございますので、単純に面積で除いた額は出せませんが、それを平米単価と言うのであれば、一概に言うのであれば、おおむね税別で1万4,000円が平米当たりとなります。

○議長（杉浦辰夫） 16番、倉田利奈議員。

○16番（倉田利奈） 今、アスベストの処理費が確定していないから、まだ事業契約の変更をする前に工事をやって、事業契約を後からやるという御説明だと思うんですけども、でもこれに関しては契約が全くなくてはできないと思ひますので、仮契約は結んでいるのかどうかお願ひいたします。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 仮契約を結ばずに、予算の範囲内で処理をさせていただいております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

3番、杉浦康憲議員。

○3番（杉浦康憲） すみません。議案第7号 定住自立圏の形成に関する協定の締結について、1点だけ。福祉の委員長ですが、質問できないということで、総括でさせていただきたいと思ひます。

定住自立圏の再協定ということで、非常にすばらしいと思ひます。先ほど新たな協定の中に、共同調達の推進という話がありました。いつも思うんですが、基幹システムの統合というもの、今現在、総務省が日本全国で考えられるという話もありますが、毎回毎回この予算の中でもシステム改修費というのがたくさんあると思ひます。そういった中で、共同調達に入るのかどうか分かりませんが、今後、5市、5市じゃないか、市にわたっていろいろと問題があると思うんですが、非常に効果というものが大きいと思ひますので、そういったことに向けての話合いができるのか、していくつもりがあるのかとか、そういったことをお聞かせ願ひたいと思ひます。

○議長（杉浦辰夫） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） 実は議員御指摘のとおりでございます、今現在、公表されております国のDX計画の中で、基幹システムの標準化というのは大きなそのテーマの一つになって

おります。

その中身を少し見ていきますと、基幹システムの中のベースの部分については全国標準にしていきましょう。その中で、各市に合ったオプションの部分はそれぞれのベンダーさんのほうで競争をしていきましょうという、どうもそういう方向性が打ち出されておりますので、したがって、この定住自立圏の枠組みというのは、当然そのときに我々も期待しております、ベースの部分については恐らく値段が決まっております。ですが、オプションの部分についてはそういった共同調達と、現時点ではそのような進め方を想定しておりますので、よろしく願います。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これもって議案第2号から議案第11号までの質疑を終結いたします。

ただいま議案となっております議案第2号から議案第11号までについては、会議規則第36条第1項の規定により、お手元に配付してあります議案付託表のとおり各常任委員会に付託いたします。

○議長（杉浦辰夫） 日程第3 議案第20号 令和3年度高浜市一般会計予算を議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たっては、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

2番、神谷直子議員。

○2番（神谷直子） 主要新規事業の概要、19ページ、4款1項保健衛生費、ナンバー8の新規事業で新型コロナウイルス感染症対策推進事業についてお尋ねします。

これ、最近の報道では、ワクチンが届くのがいつになるのかって、遅れてますみたいなのがありますけれども、当初に届く分はどのように接種していくのか教えてください。また、最初に接種が始まる65歳以上の高齢者への通知はいつ頃になるのでしょうか。集団接種及び高浜豊田病院での接種の予約受付はいつから開始するのか教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 当初に届く新型コロナワクチンというのはスポット的でありまして、安定的な供給までは時間がかかるものと思われるため、個別接種で使うのか、高浜豊田病院及び集団接種で使うのか、個別接種及び集団接種の併用で使うのか、あるいは感染した場合に重症化及びクラスターのリスクの高い高齢者施設の入所者へ接種するのか、今後、医師会と協議を行ってまいります。

それから、先ほどのワクチンでございますが、今現在、私どもの把握している情報では、4月26日の週に届くことを想定しております。

続きまして、高齢者の方への個別通知についてですが、国が示す標準としまして、4月23日頃までに対象者に届けるよう通知がありましたので、通知に基づいて準備を進めてまいります。

また、集団接種及び高浜豊田病院での接種の予約受付についてですが、高齢者の方々にお手元に個別通知が届いてからを予定しております。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 2番、神谷直子議員。

○2番（神谷直子） これは4月23日に届くから、それ以降に予約が始まって、接種が始まるという認識でよかったのかというのを確認と、あと、多くの高齢者の方が医療機関や集団接種会場へ出かけやすくなるような対策を考えているのかどうか教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） まず、4月23日頃までに個別通知は届けるんですが、接種の開始に当たっては、ただいま医師会と協議を行っておりますので、まだはっきりとしたことは申し上げられません。

それから、高齢者の方への配慮と対策ということでございますが、高齢者の方の移動手段といたしまして、ワクチン接種に行く際に使っていただけるように、一定期間利用可能ないきいき号の市内コースの無料乗車券をワクチンの個別通知に同封してまいります。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 2番、神谷直子議員。

○2番（神谷直子） ありがとうございます。いきいき号で行けるとということで、高齢者の方も行きやすくなると思います。

あと、予防接種における副反応について、これは健康被害が出た場合ですけれども、この予防接種健康被害救済制度で補償されると思います。これ国のほうが補償していただくということで、すけれども、この制度の案内を確認しますと、健康被害救済給付の申請は市町村で行うこと、また申請には予防接種を受ける前後のカルテ等必要になる書類があるので、お住まいの市町村に相談することと案内されています。これらについて準備はされていますか。また副反応が出たということが国で認定された場合の給付金は、これは高浜市は不交付団体でございますが、これは全額国庫支出金となるのでしょうか。教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 福祉部長。

○福祉部長（加藤一志） 今、議員おっしゃられたように、今回の予防接種については、これは国が主体で、市町村は法定受託事務として市が行います。副反応の健康被害については、全て市が窓口になりますので、市のほうで対応させていただきます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 予算書の54ページです。市税の個人市民税と法人市民税と出ているんですが、このどれぐらい下がるのか、概略でいいので教えてください。これ下がると言っています。

それから、58ページの都市計画税ですが、これについて近隣市では0.2%に下げているところもありますが、高浜市はそういう考えはないのかどうかお聞きします。

それから、60ページの法人事業税の交付金ですが、これが若干と申しますか、昨年度よりも増額になっていますが、これがなぜ増額になったのか。

それから、次の7款の地方消費税交付金、これも教えてください。

まず、そこまで教えてください。

○議長（杉浦辰夫） 内藤とし子議員、確認します。まとめてということで、予定されとるのはいいですか。

○15番（内藤とし子） 歳入については今のところで。

○議長（杉浦辰夫） 答弁、お願いします。

税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） まず、個人の市民税の減収ですが、約4億3,000万円ぐらいの減少と見込んでおります。法人市民税につきましては、約2億7,000万円程度の減と見込んでおります。減収幅につきましては、個人市民税はおおむね14%程度、法人市民税につきましては48%程度の減収を見込んでおりますが、これにつきましては、御存じのとおり、新型コロナウイルス感染症の影響による緊急事態宣言等によりまして経済活動が停滞しておったものが主な要因となっております。これにつきましては、近隣自治体もそうなんです、リーマン・ショック時における大幅な税収増のときの状況を勘案しながら予算編成をさせていただきました。（訂正後述あり）

2点目の都市計画税についての御質問ですが、都市計画税につきましては、都市計画事業を行う上での重要な目的税となっております。また、今後、高浜市においても都市計画事業についてやっていくということがありますので、現時点では減額する予定はございません。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 60ページの6款の法人事業税交付金の増額の理由でございます。これにつきましては、交付率が2年度から3年度にかけて4.3ポイント引き上げられるということになっておりますので、それに伴う増額でございます。

それから、7款の地方消費税交付金でございます。県の資料によりますと、国内において税率の引上げの影響が引き続きあるであろうということで、増額を見込んでいるところでございます。

○議長（杉浦辰夫） 15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） この法人事業税の交付金が4.3ポイント引き上げられるということなん

ですが、コロナで経済活動も厳しいという中でなぜ引き上げられるのか、そのあたりを教えてください。

それから、歳出に移ります。

先ほども出ましたが、コロナの感染症対策分として防災活動に610万円、これは主要新規事業でナンバー5で載っています。

それから、ナンバー8で対策事業として個別接種の業務委託などが2億5,079万9,000円載っていますが、このほかにコロナの事業はなかったかどうかお聞かせください。

それから、103ページの2款総務費、1項総務管理費の関係で、5の市役所本庁舎整備事業、これ1億6,483万8,000円、借上料が計上されていますが、これ、昨年が1億6,286万9,000円でして、ちょっと上がっているんですが、なぜ上がっているのか教えてください。

それから、105ページのICT、テレワーク、これ主要新規にも載っていましたが、主要新規の2のところ、この事業実施スケジュールのところ、20台体制とか50台体制とかありますが、これはどのようなことなのか教えてください。

まず、そこまでお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 税務グループ。

○税務G（亀井勝彦） すみません、先ほど15番議員の答弁で、すみません、リーマン・ショック時「増額」と発言してしまいましたが、リーマン・ショック時は「減額」ですので、訂正のほうをよろしく願いいたします。

○議長（杉浦辰夫） 財務グループ。

○財務G（竹内正夫） 60ページの法人事業税交付金の率の引上げでございます。これは段階的な措置ということで、そのようになっております。

○議長（杉浦辰夫） 行政グループ。

○行政G（板倉宏幸） 予算書103ページの2款1項1目の市役所本庁舎整備事業でございます。こちら、一言で申しますと、物価が上昇したことによる維持管理運営費の増加になります。こちらは事業契約書等で物価変動等があった場合には増額をする、減額をするということをうたわれており、維持管理分につきましては日銀の指数を、運営費については厚生労働省の指数を参考に算定をしているものでございます。

○議長（杉浦辰夫） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 新型コロナウイルス感染症対策推進事業、主要新規のナンバー8について御質問がありましたが、個別接種、集団接種業務委託料についてはこちらのほうで計上させていただいておりますが、それ以外にワクチン接種に係る費用につきましては、161ページからの新型コロナウイルス感染症対策推進事業の中で予算を計上させていただいております。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） それでは、主要新規のテレワーク構築業務委託の整備の経過を御説明いたしますと、まず、令和3年1月に10台を整備いたしました。そもそもの目的は、コロナウイルス対策の在宅勤務の率を上げようということで10台まず整備をさせていただきまして、その後、全庁の職員に対してテレワークの実施が可能かどうかという調査をした結果、おおむね50台ぐらいは必要だということが判明しましたので、とはいうものの、緊急事態宣言下でございましたので、2月に10台を整備をして、そこで最終的に令和3年度中に50台体制にしたいと、こういう計画をしております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 今のテレワークの関係ですが、50台ということは50人ということかと思うんですが、市の職員の中でそんなにテレワークで市役所にいなくても大丈夫なのかどうか、そのあたりをちょっとお聞かせください。

それから、107ページの1款総務管理費、13の広域行政費の1、広域行政推進事業、名鉄三河線の複線化促進期成同盟会の負担金、これ1万円ですが、あと、リニアの中央新幹線の建設促進愛知県期成同盟会の負担金が6,000円が載っていますが、複線化の問題はどのような進捗状況かということと、それからリニアのほうは、現在、リモートでやるということが出ていて、東京まで行く必要がなくなったというようなお話があちこちで出ていますが、これ、どのように考えてみえるのかお示してください。

○議長（杉浦辰夫） ICT推進グループ。

○ICT推進G（山下浩二） それでは、テレワークの関係で50人がというお話がございましたが、今現在考えておるのが、各グループ約26グループぐらいございますが、各グループに1台ないし2台配備をさせていただいて、各所属長の判断に応じて、業務の進捗状況に応じてテレワークを実施する人間を選定をしていくようなことを想定しております。なので、議員おっしゃるとおり、最大同時で50台いけるはいけるんですが、ただ、週1日程度を今現在想定をしておりますので、毎週、週1日誰かがやっていただくと在宅勤務が上がるのではないかというふうな形を考えておりますので、まだ何分始めたばかりでございますので、実際に使っていただけるかどうか、まだそういったデータも出ていないので、基本的にはそういった各グループに1台ないし2台用意して、都合の合った人間で使いまわしていただいて様子を見させていただきたい、このように考えております。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） 名鉄三河線複線化期成同盟会の関係ですが、現在については、要望を市としてはさせていただいているほか、利用促進のイベントということで期成同盟会のほうで

取り組んでいるというようなところになります。

リニア中央の関係ですが、議員言われるようにリモートというところはあると思いますが、人と人が行き交う部分というのはなくならないとは思いますが、いずれにしても、両方とも必要な事業ということで、負担金として支出していきたいと考えております。よろしくをお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 135ページの民生費の1項社会福祉費の中で、上のほうにありますが、扶助費の中の補装具のところは742万7,000円出ていますが、これが今、補装具をつけた場合に、一旦自分で全額払って、3割負担だったら3割は自分であれして、7割が戻ってくる。その保険の関係でするんですが、それが、そういう一時自分で立て替えなくても済むような形にならないかということがありますが、それについてお示してください。

それから、137ページの1項社会福祉費、高齢者の生活支援事業の中で、補聴器の購入について助成をしないのかどうかお伺いします。

それから、167ページ、衛生費の保健衛生費、3目の医療対策推進費の中で、2の地域医療振興事業委託料で、この刈谷豊田総合病院の高浜分院草刈業務委託料が載っています、18万6,000円。それから、土地借地料が426万8,000円、それから補助金が4つ載ってまして、この利子補給の補助金978万円と固定資産税の補助金が4,213万1,000円、これについてちょっとお聞かせください。

○議長（杉浦辰夫） 内藤議員、まだ質疑はその後続きますか。

○15番（内藤とし子） あります。

○議長（杉浦辰夫） では、続けて質疑をお願いいたします。

○15番（内藤とし子） 183ページ、商工費の4目コミュニティ交通費、1のいきいき号循環事業で2,682万5,000円となっていますが、以前からずっと、先ほども出ましたが見直しをお願いしているんですが、進捗状況、簡単でいいのでお示してください。

それから、187ページ、土木費の2項道路橋りょう費の中で、上のほうにあります排水路ポンプ施設等設計業務委託料680万5,000円が載っていますが、これは、どの排水ポンプの関係なのかお示してください。

それから、193ページ、土木費の5項都市計画費の2目幹線道路費の中で名浜道路推進協議会の負担金2万円が載っています。これ、ずっと同じ金額で負担金が出ていたんですが、今回下がったのはどうしてかということと、進捗状況について教えてください。それから、衣浦大橋の整備促進期成同盟会の負担金が4万4,000円、この進捗状況とといいますか、これの内容について教えてください。

それから、209ページ、10款教育費の2項小学校費、体育館について避難所仕様に、防災が非常に強く言われている中ですが、避難所にエアコンを設置する考えはないかどうかお示してください。

い。

それから、翼小学校の給食調理室改修工事費が250万8,000円載っていますが、これはどのような改修になるのかお示してください。

それから、213ページ、教育費の2項小学校費の関係ですが、小学校の児童就学援助事業の関係で、扶助費、要保護及び準要保護児童就学援助費のところでは1,948万8,000円計上されていますが、これ中学校も同じなんです、2人家族といますか、ひとり親世帯から二人親世帯、子供が2人で4人世帯とかいろいろあるんですが、就学援助の規定はどのようになっているのか。それから、就学援助の費目はどのようになっているのかをお願いします。

それまでです。お願いします。

○議長（杉浦辰夫） 暫時休憩いたします。

再開は13時00分。

午前11時58分休憩

午後1時00分再開

○議長（杉浦辰夫） 休憩前に引き続き会議を開きます。

答弁からお願いします。

介護障がいグループ。

○介護障がいG（野口恒夫） 135ページ、障がいの補装具費についての御質問をいただきました。こちら3割負担ではなく、そもそも1割負担でございますし、全額払って後から還付される償還払いではございませんので、よろしく願いいたします。

あと、補聴器の助成について御質問をいただきました。補聴器の助成につきましては、障害者手帳をお持ちの方に関しましては、こちらの補装具で支給しておりますが、障害認定のない方の市による助成は、今のところ市としては考えてございません。

○議長（杉浦辰夫） 続けてお願いします。

健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 続きまして、4款1項3目、167ページになりますが、地域医療振興事業についてお答えさせていただきます。

まず、1点目の刈谷豊田総合病院高浜分院草刈業務委託料でございますが、こちらにつきましては協定書により高浜市が管理することになっていることから、旧高浜分院敷地の草刈りに係る委託として予算計上しております。

それから、借地料でございますが、こちらにつきましては、高浜豊田病院の駐車場などの借地料として計上しております。

それから、補助金でございます。

利子補給補助金でございますが、新築移転補助の20億円の残額に利率を掛けたものとして計上しております。

それから、固定資産税等補助金でございます。こちらは高浜豊田病院及び旧高浜分院の建物等に係る固定資産税等になります。

以上でございます。

○議長（杉浦辰夫） 経済環境グループ。

○経済環境G（田中秀彦） 183ページ、いきいき号循環事業のことについてお答えいたします。

進捗といたしましては、今年度、いきいき号の見直しに向けて利用者アンケートを9月3日から1か月ほどやっております。しかしながら、このコロナ禍において、いきいき号の乗降者数が激減していることもあり、有効な回答がちょっと集まっていないという状況でございます。また、近隣市の公共交通バスの担当及び課長との連絡を取り、書面会議等々のやり方についてもいろいろ議論をさせていただきました。ただ、やはり先ほどもちょっと16番議員さんへの答弁もさせていただいたところもあるんですが、次年度以降にコンサルタント業務を委託いたしまして、専門的な見直しを図るという考えもございますので、今年度はちょっと見送っているという状況です。

次年度以降、年度早々には、書面会議も含めた公共交通会議を視野に入れ、方向性を見いだしていきたいというふうに考えております。

○議長（杉浦辰夫） 土木グループ。

○土木G（杉浦睦彦） 187ページの排水路ポンプ施設等設計業務委託料の内容につきましては、ポンプ場ではなく、新田町五丁目周辺の排水施設改良のための基本設計を予定しております。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 都市計画グループ。

○都市計画G（島口 靖） 193ページの街路計画事業の名浜道路の推進協議会負担金と衣浦大橋の件で3点ほど御質問をいただきました。

まず初めに、名浜道路推進協議会の負担金が前年度に比べ減額した理由でございますけれども、本年度に活動内容の見直しが実施され、今後の要望先の変更に伴い、負担金額が減額となったものでございます。

次に、名浜道路の進捗状況に関する御質問でございますけれども、現在、愛知県などに整備の進捗を促進を要望のほうをしております、いまだ計画段階の道路でございます。

あと、最後に、大橋の内容ということで、衣浦大橋整備促進期成同盟会の活動内容の御質問だったと思われま。現在、愛知県のほうにおきまして事業進出していただいております橋梁の工事の早期完了、それと旧橋の架け替えの促進を図るために、国や県などに要望活動のほうを実施しております。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明）209ページの、まず予算の中にはないんですけども、体育館避難所へのエアコンの設置についての考え方ということで、簡単に、高浜小学校以外の体育館については、体育館にエアコンをつけますと、初期費用やランニングコスト、大きな財政負担が見込まれます。現在、やはり学校の優先順位といたしましては、日常的に使用するもの、トイレの洋式化とか校舎の大規模改造といったような優先度の高いものが控えておりますので、まずこれらを着実に実施していきたいというふうに考えております。

2点目の工事請負費、下から3つですね、翼小学校の給食調理室改修工事費については、この内容はということでございましたので、給食調理室の床と立ち上がり1メートル程度の壁の舗装を考えております。

続きまして、213ページ、就学援助の関係でございます。

まず、所得の基準ということで、認定の仕方としては、収入額を需要額で割りまして、二人親家庭には1.0以下、ひとり親家庭には1.5以下を認定するというところで、一概に金額がなかなか言えないような状況でございますが、一応、パンフレットのほうには、2人家族、母と小学生で213万円程度の所得、4人家族、父母30代と小学生4歳児ということで211万円程度の金額となっております。

認定援助の費目ということでございますが、これは特別支援教育就学奨励費の費目に準じまして、学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、給食費ということになってございます。

○議長（杉浦辰夫） 答弁は以上ですか。

ほかに。

6番、柴田耕一議員。

○6番（柴田耕一） 2点ほどお伺いします。

163ページの委託料の中で個別と集団の費用が載っておるんですけども、先ほどの説明では、まだ医師会との話し中ということで、この金額が変わる可能性はあると思うんですけども、今のところ、診療所等の要するに予約じゃないですけども、患者さんの中には、やっぱり診療所というか医院へ行くと予約みたいな形で何か話をされるということがあられるそうですので、そこら辺、きちんと正式にというのか、ワクチンがきちんと個別のお医者さんのほうまで行き渡るのか、そこら辺の確認やなんかはどうなっておるのか。

それと、もう一つ、209ページの小学校、高取と吉浜と港の大改造及び長寿命化改良事業の実設計書の委託料が入るとるんですけども、これ順番としては、この四、五年の間に取小、吉小、港小の順番で進めていくのか、そこら辺の考え方だけお願いします。

○議長（杉浦辰夫） 健康推進グループ。

○健康推進G（内藤克己） 最初に、新型コロナワクチンの件につきましてお答えさせていただきます。

午前中、2番議員の際もお答え申し上げたんですが、ただいま、ワクチンが高浜市に入ってくるのが4月26日に1箱という以外の情報がまだきておりませんで、個別接種でどのくらい扱うのかというところまでまだ医師会のほうと協議ができていない状況でございます。

以上です。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 長寿命化に向けた工事ということで、議員おっしゃるとおり、高取小学校、吉浜小学校、港小学校の順でございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

8番、黒川美克議員。

○8番（黒川美克） それでは、私のほう、2点ほど質問をさせていただきます。

予算書の78ページ、そここのところの寄附金で、一般寄附金が本年度予算額7,500万1,000円、前年度の予算額が1億3,000万1,000円、5,500万円の減額と、このことについてまず質問させていただきます。前年度の予算が1億3,000万円で、補正予算のほうでも5,500万円減額をするということで、この内容としては何か農業のほうの返礼品が多くなって、うちのほうではそういうのがなくなって5,500万円ぐらい減額されたと、そういうことで答弁があったんですけれども、今回、この5,500万円はもう当初予算、いわゆる補正予算で減額した部分だけが今回減らされとるわけなんですけれども、その辺のところ、どういうふうな反省に基づいてこの予算が計上されたかということがまず1点。

それから、227ページ、美術館の管理運営事業1億2,527万6,000円、これの内容のところ、委託料が9,990万円だとか、それから工事請負費が、かわら美術館の防災設備の改修工事で1,863万4,000円、かわら美術館の電気設備の改修工事で480万7,000円、これらの工事の内容についてお答えください。

○議長（杉浦辰夫） 総合政策グループ。

○総合政策G（榊原雅彦） すみません、78ページ、79ページの一般寄附金のところですが、こちらは、ふるさと応援寄附金の昨年度と比べて減っているところが影響している部分でございますが、3月補正のところでもお話をさせていただきましたが、7,500万円という当初予算計上は今年度の実績見込みというようになっています。

反省というところですが、やはりPRというのが一番重要なのかなというところがありまして、来年度につきましては、職員がやっぱり原点に立ち返って、ちょっとどうやったら一番PR、全国の皆さんに届くのかというのをもう一度考え直してやっていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○議長（杉浦辰夫） 文化スポーツグループ。

○文化スポーツG（鈴木明美） それでは、予算書の227ページ、美術館管理運営事業のうち、指定管理料と工事請負費の御質問をいただきました。

まず、指定管理料でございますけれども、指定期間を延長させていただくという中で、引き続き、みんなで美術館という方針を掲げて運営のほうを進めてまいります。ただし、新たに提案をいただいたときに、経費の見直しということで、今年度の予算でいきますと、指定管理料が1億479万4,000円というところがございますけれども、例えば企画展の開催の回数の見直し等を行い、9,990万円という提案があり、それを予算化したということがございます。

なお、コロナの関係で、美術館は利用料金制を取っておりますけれども、利用料金収入が大きく落ち込むというそういう中で、さらに減額という提案で工夫をしていただいたということがございます。

それから、工事請負費の関係でございますけれども、まず防災設備の改修工事費の内容でございますが、これは非常灯のLED化の改修、それから排煙設備の改修、誘導灯のLED化ということで、これは開館時以降、ずっと設置して以来修繕を行っていないということで、経年劣化に伴う修繕というところがございます。

それから、電気設備の改修工事についてですけれども、真空遮断器の改修ということで、これは保守点検において指摘があったものなのですが、これも開館以来手を入れていないというところで、改修を行わせていただきたいというものでございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 先ほど就学援助のことでお聞きしたんですが、ひとり親世帯というか、2人家族だとか4人家族だとかは分かったんですが、就学援助の費目ですね、学用品費だとか遠足、修学旅行の費用、一定の金額を援助されていると思うんですが、体育の実技用具だとか卒業記念だとか、PTA会費とか眼鏡、眼鏡も今はかなり人数が、弱視というんですか、などが多くなっているというふうに聞いていますが、そういう子供たちのほかの自治体では援助しているところもあるんですが、そういうのはしていないのはなぜかということをお教えください。

○議長（杉浦辰夫） 学校経営グループ。

○学校経営G（岡島正明） 費目につきましては、先ほども申し上げたんですけれども、特別支援教育就学奨励費というのを国が定めておまして、その費目に準じて就学援助を行っているというのが現状でございます。恐らく碧海5市はこれに準じて、我々と同じように援助しているというふうに考えております。ですので、現時点では、特別な事情がない限りは現行のままいかせていただくということがございます。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

[発言する者なし]

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これにて議案第20号の質疑を終結いたします。

○議長（杉浦辰夫） 日程第4 議案第21号から議案第25号までを会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 第21号の国民健康保険について伺います。

高浜市の保険料はトップクラスなのですが、昨年から新型コロナウイルス感染症に関する取組がされているのですが、この傷病手当金について高浜市は何人あるのか、また減免がどれぐらいなのか、あと影響額などについて教えてください。

それから、2022年度から子供の均等割の5割を公費負担するというのを聞いているのですが、これはそのような方向が示されているのでしょうか。

それから、70歳から74歳の高齢者の高額療養費の支給手続を簡素化してほしいという件なんですけど、通知はがきで案内をしていますが、ほかに郵送などで簡素化を実施しておられるかどうかお示してください。

○議長（杉浦辰夫） 市民窓口グループ。

○市民窓口G（中川幸紀） 3問、御質問をいただいたかと思います。

1問目の新型コロナウイルスの影響に伴いまして収入が減少したなどの被保険者への保険税の減免した減免額につきましては、合計で87件、現時点では87件の956万8,500円となっております。

そして、傷病手当金の実績につきましては、御相談等のお電話等はありませんでしたが、実績としてはございません。

順番が逆になりますが、高額療養費の手続について、何かしら簡素化をしたらどうだというような御質問だったと思います。これにつきましては、議員おっしゃられるとおり、新型コロナウイルス感染症拡大防止の策を講じる必要性もあり、県の単位化に伴って簡素化をする動きもありましたので、今年度の7月分までの高額療養費の申請につきましては、全ての対象者にはがきでお知らせをしております。そして窓口で領収書を確認して申請書の受付を行っていましたが、8月診療分からは申請方法を、窓口だけの方法から一部を郵送対応に見直しを行っております。具体的には、高額療養費に該当いたします70歳から74歳までの被保険者だけの世帯を対象に郵送による申請を可能といたしまして、毎月、平均でいくと150件程度ある申請のうち100件程度が70歳から74歳になるんですが、こちらの方につきましては郵送で申請をできるようにいたしております。

ます。

最後に、子供均等割についての考えであるかと思えます。こちらのほうは、現在、国会のほうで医療制度改革の検討がなされている中で、子ども医療制度を始めといたしまして、限られた財源の中で持続可能な制度を目指して、まずは現行制度を維持、継続させていくことが課題だと思っておりますので、国の動向を注視してまいりたいと考えております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これにて議案第21号から議案第25号までの質疑を終結いたします。

○議長（杉浦辰夫） 日程第5 議案第26号及び議案第27号を会議規則第34条の規定により一括議題とし、総括質疑を行います。

なお、質疑に当たりましては、第何号議案であるかと、ページ数及び款・項・目・節を明確にお示しいただくようお願いいたします。

15番、内藤とし子議員。

○15番（内藤とし子） 第26号について伺います。

水道というか、水は生活するのに最も必要なものなのですが、それに消費税をかけているということもあります。

それと、豊川用水の上流部で建設されている設楽ダムは、総貯留容量は9,800万立方メートル、総事業費が3,000億円という巨大な公共事業なのですが、建設予定時は地質地盤条件が特に悪い状態で、1960年代に電源開発が入って、すぐに撤退した場所です。ダム湖に水がたまれば、地滑り、液状化、地下水汚染や漏水のおそれがあります。環境を破壊し、流域住民に危険を押しつける、建設することは許されないと思うんですが、どのようにお考えでしょうか。

○議長（杉浦辰夫） 上下水道グループ。

○上下水道G（清水洋己） ダムの建設ということで、貴重な水源の確保ということで、国と県のほうが行っていただいております。高浜市は県水100%の受水団体でありまして、県のほうには安心して安全な水を安定して安く入れていただきたいという要望はさせていただいております。

○議長（杉浦辰夫） ほかに。

〔発言する者なし〕

○議長（杉浦辰夫） ほかに質疑もないようですので、これにて議案第26号及び議案第27号の質疑を終結いたします。

○議長（杉浦辰夫） 日程第6 予算特別委員会の設置を議題といたします。

お諮りいたします。

議案第20号から議案第27号までにつきましては、委員会条例第6条の規定により、8名の委員をもって構成する予算特別委員会を設置し、会議規則第36条第1項の規定により、これに付託の上、審査することにいたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、議案第20号から議案第27号までについては、予算特別委員会を設置し、審査することに決定いたしました。

お諮りいたします。

ただいま設置されました予算特別委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第8条の規定により、荒川義孝議員、神谷利盛議員、岡田公作議員、長谷川広昌議員、柳沢英希議員、北川広人議員、今原ゆかり議員、倉田利奈議員、以上8名を指名したいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました8名の議員を予算特別委員会委員に選任することに決定しました。

○議長（杉浦辰夫） 以上をもって、本日の日程は全部終了いたしました。

お諮りいたします。

予算特別委員会及び常任委員会の開催により、3月10日から23日までを休会としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（杉浦辰夫） 御異議なしと認めます。よって、3月10日から23日までを休会とすることに決定しました。

再開は3月24日午前10時であります。

本日はこれをもって散会といたします。御協力ありがとうございました。

午後1時27分散会
